

## グローバルな環境ビジネス創造と次世代リーダー期待される ～アジア・アフリカ学生の大学院における P 2 M 授業と実践～

=====

一般社団法人 国際 P 2 M 学会広報委員会、事務局

東京農工大大学院（東京大学吉田邦夫名誉教授学会会長、東京大学 檜目 雅準教授、東京農工大学大学院亀山秀雄教授、小原重信客員教授など）は、文部科学省の支援のもと 2011 年平成 23 年度から、英語による現場実践型リーダー育成の授業を開始して 2 年目を終了し注目される。その理由は、日本発信の P 2 M~Project & Program Management を適用して環境問題に取り組んだことである。P 2 M は、経済産業省とエンジニアリング協会の奨励により開発されたガイドである。したがって、教育活動は、日本の知恵と風土を世界に発信することになる。1992 年のリオ会議で確認された「持続可能な発展」を現実的な「プロジェクトやプログラム」に企画立案し、実行管理できる現地立脚型リーダー育成が 4 期待されている。環境産業の事業領域は、再生可能なエネルギーの活用、省資源・省エネルギー、廃棄物回収・再利用、公害防止など実に多様である。2009 年 12 月の COP15 コペンハーゲン会議では、低炭素社会の実現が緊急テーマとなったが、低炭素社会の実現は、産業の成長を目指す上国にとって、「成長と環境の両立」は、苦しく「高いハードル」となる。本講座は、その克服を担う環境リーダー育成のために、Policy~Program~Project の整合視点により、ステークホルダーの調和を図りながら、環境ビジネスの創成と実行力を養成する。そのために、我が国と新興国、途上国間の産業、産業、企業あるいは連携による環境ビジネスの実例や紹介を重視して、多様なゲスト講師を招請する。その特色は

- 1．環境産業の多様なビジネスの領域における実践事例を紹介する。
- 2．P 2 M 理論のフレームワーク、知識、ツールで理解を深めて、応用力を高める。
- 3．環境ビジネスモデルと技術ソリューションの巧みな結合を意図して説明する。